

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成29年10月16日 VOL. 44

介護さわやか相談員と受入施設職員による意見交換会開催

グループでの活発な意見交換



平成29年10月4日(水)5階大会議室において、「さわやか相談員の資質向上と施設におけるサービスの質の向上を“ともに”考える」を目的に開催しました。市内19カ所の受入施設から18人の施設長や介護長、ケアマネや生活相談員が出席し、15人のさわやか相談員と合わせて33人が小グループに分かれ「利用者との関わりで意識していること」や「苦労していること」「工夫して取り組んでいること」などを共有しました。

参加者全体での情報共有



施設職員からは、「悩みが他の施設に相談できたことが良かった」「日中活動（レク活動）の提供の新たな発見、利用者の意思による支援の大事さを再認識できた」の声が挙がり、同時に「さわやか相談員の積極的な姿勢に感動した」等の意見がありました。今後も**施設と利用者の橋渡し役**であるさわやか相談員の活動を推進していきます。

「シズケア★かけはし」の導入を促進し在宅療養環境を整備します

10月4日(水) 志太医師会講堂で、在宅医療サポートセンター主催の**県在宅医療・介護連携情報システム**の実践操作研修会を開催しました。この日はすでにシステムを導入している医療機関や薬局・介護事業所に加え、導入を検討している事業所職員など約60人が参集し、「掲示板の投稿・閲覧」「セキュアメールの送受信」の操作や「施設・サービス情報提供の閲覧」、在宅チームでの「患者・利用者情報共有システム」を体験しました。

